

News Release

第47回 全国フロントマン選抜技術競技会の結果について 大分県の清家 義顕さん〔社名 清家自動車〕が最優秀賞を受賞

J A共済自動車指定工場協力会〔愛称：J A R I C（ジェイエイリック）／事務局：J A共済連全国本部自動車部〕主催の第47回全国フロントマン選抜技術競技会が10月25日（金）にJ A共済 幕張研修センターにて開催され、以下の通り、最優秀賞1名をはじめ、優秀賞2名、敢闘賞2名が決定しましたのでお知らせします。

◇最優秀賞

大分県 清家 義顕（せいけ よしあき） 清家自動車

◇優秀賞

山形県 金丸 和也（かねまる かずや） 有限会社 大山ボデー
京都府 河村 義久（かわむら よしひさ） J A全農京都丹波自動車サービスセンター

◇敢闘賞

熊本県 大津 栄伸（おおつ えいしん） 有限会社 大津車体工業
兵庫県 足立 進（あだちすすむ） 足立自動車钣金株式会社

■ J A R I Cと全国フロントマン選抜技術競技会について

J A R I Cは、J A・J A共済連と自動車修理工場の相互による発展を目的とした組織で、現在、全国で約1,600の工場が加盟しています。その中でフロントマンは工場の代表者としてドライバーの相談窓口になるとともに、工場内においては作業指示者、作業工程管理者などの役割を担っています。

J A R I Cでは、フロントマンの更なる技術向上を図り、優良かつ迅速な修理を行うことを目的に、昭和49年から「全国フロントマン選抜技術競技会」を実施しています。出場資格は、各県大会の成績優秀者で、本年は全国から15名の精鋭フロントマンが出場しました。

■ 本年度は新たに学科競技が審査対象に加わる

本年の競技会は、例年実施している交通事故を再現した実車を用いた見積競技に加え、新たに学科競技を実施。見積競技では、フロント部とリヤ部が損傷した2台の事故車について、制限時間以内に損傷程度やパーツ交換の必要性、工賃などを確認し、見積書を作成。また、新たに追加された学科競技では、自動車修理に求められる知識が問われる問題が出題されました。

選手が作成した見積書、答案については、11月1日（金）に全国技術アジャスター協会 齊木 一郎副会長をはじめとする4名の審査委員により評価を行いました。

第47回全国フロントマン選抜技術競技会 大会概要

○ 開催日時

令和6年10月25日（金） 12：30～17：30

○ 競技会場

J A共済 幕張研修センター（千葉県千葉市美浜区若葉3-2-8）

○ 競技参加者

各都道府県の指定工場に勤務し、当競技会開催年度に開催された各都道府県本部主催によるフロントマン選抜競技会において優秀な成績を収めた15名が参加。

○ 競技内容

1. 事故車両の損害見積

- ・フロント部損傷車

制限時間80分、専用のアプリケーションソフトで見積書を作成し見積精度を競う。

- ・リヤ部損傷車

制限時間110分、手書きで見積書を作成し見積精度を競う。

2. 学科競技

制限時間30分、自動車修理に必要な知識が問われる問題が出題、正答数を競う。

○ 審査について

11月1日（金）に実施された審査委員会により、優秀者を選出。

■ 開会挨拶（要旨） J A共済自動車指定工場協力会 高間 専逸会長

ご参加いただいた皆さまは、各都道府県本部主催の選抜競技会で優秀な成績を収められた方々。日頃から各職場で精度の高い見積りを作られていると思うが、本競技会を通じてそうした技術を更に高めてほしい。自動車修理業界においても新たな技術が次々と導入されている。JARICも、これからの情報発信に積極的に取り組むので、皆さま方においても、引き続き、技術向上に努めていただきたい。

■ 審査講評（要旨） 齊木 一郎審査委員長（全国技術アジャスター協会副会長）

お車を預かった際、損傷箇所の修理から始めがちであるが、その前に事故車全体をくまなくチェックし、損傷がどこまで波及しているかをあらかじめイメージすることが重要。普段職場で実践されていることだと思うが、本競技会を機に改めて、修理前にしっかりと損傷の波及箇所についてイメージを行うことができているのか再確認いただき、更なるスキルアップにつなげていただきたい。

《写真》



第47回全国フロントマン選抜技術競技会 出場選手(集合写真)



JA共済自動車指定工場協会の高間専逸会長の開会挨拶



見積競技風景(フロント部損傷車)



見積競技風景(リヤ部損傷車)

以上